

第63期

# 中間報告書

2017.4.1~2017.9.30

山一電機株式会社

証券コード：6941

## ■ グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

### 1. 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

### 2. 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

### 3. 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

### 4. 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

### 5. 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

## 経営方針（第63期～第65期）

— 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する —

### 成長戦略

#### 技術力の強化によるグローバルニッチTOP製品の創出

- 伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品
- ユニークな製品、差別化した製品の開発

#### テストソリューション事業

- 新技術開発による販売拡大
- 新市場・新規顧客開拓による販売拡大
- グローバル連携強化による顧客サービスの向上

#### コネクタソリューション事業

- グローバルニッチTOP製品の創出
- IoTを視野に入れて通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充

#### 光関連事業

- 顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- 戦略的な新規開拓活動推進

### 構造改革

#### グループの効率化を更に追求

- グローバル管理体制の強化
- グローバルのモノづくりの効率化推進
- グローバルシステムの強化

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと  
 拝察申し上げます。平成30年3月期第2四半期累計期間の  
 連結業績につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

太田 佳孝

当社グループの関連する電子部品業界においては、スマートフォンの高機能化やデータセンターの需要拡大に伴う情報量の増加で、情報通信関連機器向け半導体や各種電子部品の需要は好調に推移いたしました。またEVへの転換や安全走行に向けた自動車の機能が高度化するなど、車載関連機器向け半導体や各種電子部品の需要も好調な推移となりました。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年中期経営計画（平成30年3月期～平成32年3月期）をスタートさせ、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指し、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から、「成長戦略」と「構造改革」を戦略の核に取り組み、経営基盤の強化と収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,057百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益2,585百万円（前年同期比76.2%増）、経常利益2,642百万円（前年同

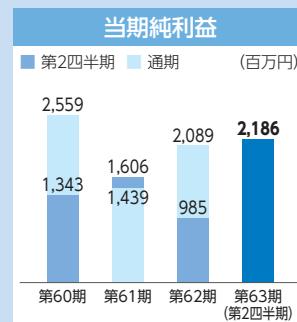
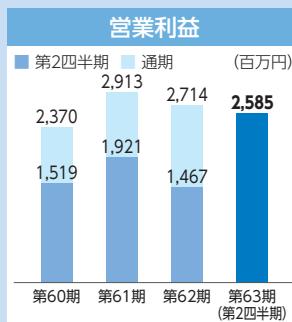
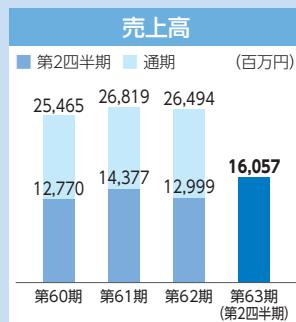
期比96.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,186百万円（前年同期比121.8%増）となりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の売上・利益実績とも好調に推移いたしましたが、経営環境および事業動向を踏まえ、現時点では平成29年8月7日に公表しました予想の売上高28,500百万円（前期比7.6%増）、営業利益3,450百万円（前期比27.1%増）、経常利益3,450百万円（前期比34.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,650百万円（前期比26.8%増）としております。

なお、中間配当につきましては、1株当たり5円といたしました。期末配当につきましては1株当たり15円、通期では20円を予定しております。

今後とも株主様のご期待と信頼に応えられるよう邁進してまいりますので、ますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## ■ 連結業績ハイライト

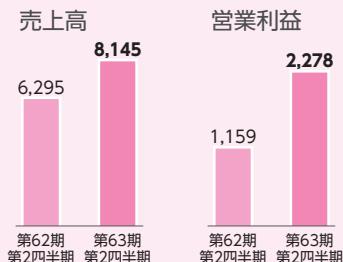


## テストソリューション事業

検査用ICソケット、プローブカード、FPC検査用ソケット、半導体テストサービス

売上高構成比  
50.7%

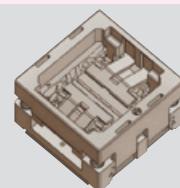
(単位：百万円)



### 次世代メモリ用バーンインソケットの開発

次世代（5G）通信規格の開発が進む中、スマートフォンをはじめとするモバイル機器製品の高機能化、高速化、低消費電力化により、メモリ用半導体の実装ピッチの微細化が急速に進んでいます。当社はこの市場トレンドにいち早く対応し、培われた技術ノウハウと超精密加工技術の融合で、現状の0.30ミリピッチより更に微細なピッチに対応可能なバーンインソケットを開発いたしました。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提供してまいります。

※5G：2020年に運用開始予定の第5世代通信規格



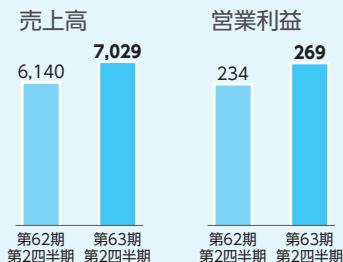
微細ピッチ対応 メモリ用バーンインソケット

## コネクタソリューション事業

コネクタ、実装用ICソケット、フレキシブルプリント配線板（YFLEX®）

売上高構成比  
43.8%

(単位：百万円)



### 100/200ギガbpsイーサネットに対応した光モジュール用CFP2コネクタ 低背タイプをラインアップ

100ギガbpsイーサネット伝送の基幹通信システム市場にて大きなシェアを獲得している当社のCFP2シリーズに、新たに低背タイプをラインアップいたしました。プリント基板のコネクタ搭載部をくり抜くことで、コネクタ全体をプリント基板に落とし込む実装が可能となり、コネクタ全体の低背化を実現いたしました。この製品は1000kmを超える光伝送を行うイーサネット基幹通信システムに採用されています。

※bps=ビット毎秒（通信速度）



光モジュール用CFP2 低背コネクタセット

## 光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源

売上高構成比  
5.5%

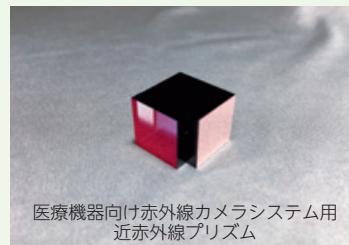
(単位：百万円)



### 医療機器向け赤外線カメラシステム用近赤外線プリズムを製品化

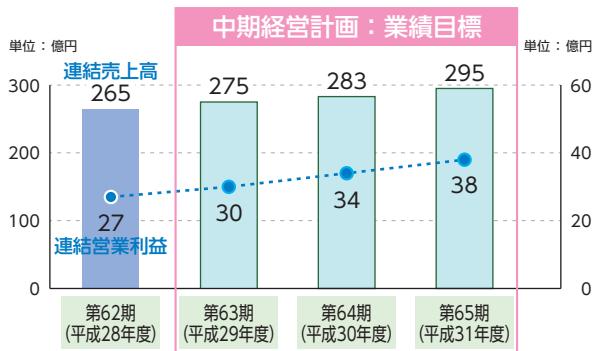
癌摘出手術の低侵襲性を高めるため、血管やリンパ管に投与した薬剤が発する近赤外蛍光をハイビジョン画像で観察する赤外線カメラシステムの普及が進んでいます。このシステムによって、従来の目視による確認では不可能だった罹患部位の正確な同定が可能になり、切除する部位を必要最小限に止めるだけでなく、転移を早期発見することも可能になりました。光関連部門ではこの医療機器向け赤外線カメラシステムに搭載する近赤外線プリズムを開発いたしました。

※近赤外線：波長の長い赤外線を遠赤外線というのに対し波長の短い赤外線



医療機器向け赤外線カメラシステム用近赤外線プリズム

## 中期経営計画(第63期～第65期)策定について 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する



### ●業績目標

連結売上高 853億円／3カ年累計額

連結営業利益 102億円以上／3カ年累計額

●ROE 10%以上

●配当 連結配当性向30%

●投資計画 70億円／3カ年累計額  
(第62期実績：15億円)

※想定為替レート：1米ドル=110円、1ユーロ=120円

「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き経営方針とし、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から中期経営計画(第63期～第65期)を策定、取り組んでまいります。

『成長戦略』と『構造改革』を核とした基本戦略を推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

### ◇基本戦略

#### I. 成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

- ・伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品
- ・ユニークな製品、差別化した製品の開発

#### II. 構造改革：グループの効率化を更に追求

- ・グローバル管理体制の強化
- ・グローバルのモノづくりの効率化推進
- ・グローバルシステムの強化

## 連結子会社の解散および清算について

平成29年8月7日に公表いたしました「連結子会社の解散および清算に関するお知らせ」のとおり、当社グループの『成長戦略』と『構造改革』を核とする基本戦略を推進する観点から、取引形態を見直し、当社連結子会社である株式会社ハイエンプラ(富山県魚津市)は、平成29年9月30日に解散し、清算手続きを開始しております。

今後も『成長戦略』と『構造改革』を推進し、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

# 連結財務諸表

## 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)	前期末 (平成29年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>18,331</b>	<b>15,404</b>
現金及び預金	7,831	5,729
受取手形及び売掛金	5,775	4,802
たな卸資産	3,369	3,439
その他	1,355	1,433
<b>固定資産</b>	<b>13,250</b>	<b>12,486</b>
有形固定資産	10,237	9,970
無形固定資産	91	99
投資その他の資産	2,921	2,415
<b>繰延資産</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
<b>資産合計</b>	<b>31,584</b>	<b>27,892</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>8,218</b>	<b>7,533</b>
支払手形及び買掛金	1,878	1,868
短期借入金	3,681	3,567
その他	2,657	2,096
<b>固定負債</b>	<b>1,883</b>	<b>1,877</b>
社債	40	57
長期借入金	805	737
その他	1,037	1,082
<b>負債合計</b>	<b>10,101</b>	<b>9,410</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>21,165</b>	<b>18,668</b>
資本金	10,084	10,047
資本剰余金	1,756	1,586
利益剰余金	9,891	8,138
自己株式	△ 565	△ 1,103
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>161</b>	<b>△ 330</b>
<b>新株予約権</b>	<b>20</b>	<b>10</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>134</b>	<b>134</b>
<b>純資産合計</b>	<b>21,482</b>	<b>18,482</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,584</b>	<b>27,892</b>

## 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>16,057</b>	<b>12,999</b>
売上原価	10,397	8,872
<b>売上総利益</b>	<b>5,659</b>	<b>4,127</b>
販売費及び一般管理費	3,073	2,659
<b>営業利益</b>	<b>2,585</b>	<b>1,467</b>
営業外収益	100	51
営業外費用	43	177
<b>経常利益</b>	<b>2,642</b>	<b>1,341</b>
特別利益	11	1
特別損失	13	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>2,639</b>	<b>1,343</b>
法人税、住民税及び事業税	527	192
法人税等調整額	△ 74	164
<b>四半期純利益</b>	<b>2,186</b>	<b>985</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,186</b>	<b>985</b>

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,600	1,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 814	△ 531
財務活動によるキャッシュ・フロー	257	△ 280
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	△ 239
現金及び現金同等物の増減額	2,102	266
現金及び現金同等物の期首残高	5,723	4,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,825	4,466

## 会社の概要

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	昭和31年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	357名 (連結 1,524名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業

## 株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,329,775株
株主数	4,418名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,127,500	18.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,900,700	8.45
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	905,900	4.03
株式会社三井住友銀行	619,300	2.75
山一電機取引先持株会	605,900	2.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	597,400	2.65
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	585,764	2.60
GOVERNMENT OF NORWAY	496,800	2.21
山一電機従業員持株会	427,288	1.90
日本生命保険相互会社	421,075	1.87

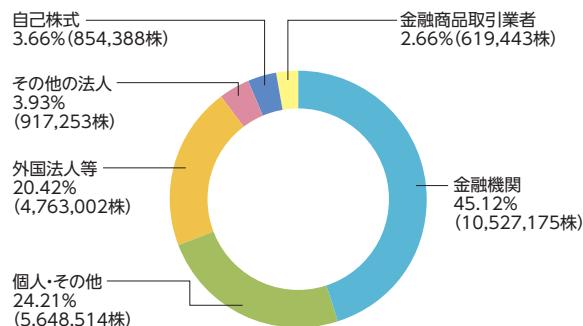
(注) 1. 当社は、自己株式を854,388株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式854,388株を控除して計算しております。

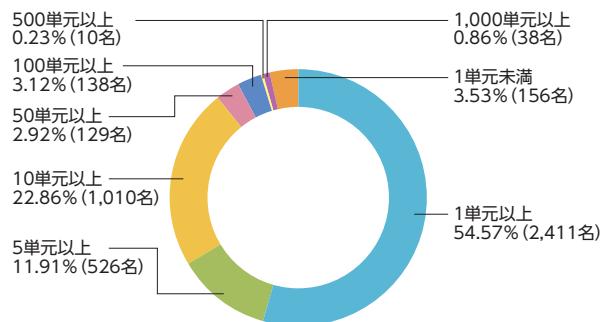
## 役員

代表取締役社長	太田 佳孝	常勤監査役	加藤 勝市
取締役	土屋 武	社外監査役	多田 郁夫
取締役	亀谷 淳一	社外監査役	吉澤 壽美雄
取締役	松田 一弘		
社外取締役	楠 美憲章		
社外取締役	村田 朋博		

## 所有者別株式数分布状況



## 所有株数別株主数分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先(注)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部:証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で  
ご覧いただける  
投資家情報

- IRカレンダー
- 決算短信
- 株主のみなさまへ
- 有価証券報告書
- 株主総会
- 株主優待制度

<http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx>

 山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
テクノポート三井生命ビル  
☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120  
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

 UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

 VEGETABLE  
OIL INK